

第64回福島県芸術祭川柳大会白河
第7回白河市民川柳大会

特別課題

べらぼう

作品集



● 応募総数 156 句

● 選者 白河市長、教育長、駒木香苑

● 主催

市長賞 1 句
教育長賞 1 句
佳作 10 句

福島県川柳連盟・福島県・
福島県教育委員会・
福島県芸術文化団体連合会

市長賞

べらぼうにうまい話の落とし穴

小谷田 厚子

教育長賞

ドラマから芽生え育む郷土愛

上村 ひろし

佳作

べらぼうな米価が民を苦しめる

佐藤 幸子

佳作

物価高べらぼう過ぎてアツプツプ

上村 ひろし

佳作

吉原をサロンに格上げする手腕

岡本 恵

佳作

人情の欠片も持たぬタリフマン

荻原 鹿声

佳作

高関税自国ファストべらぼうめ

錦戸 春憲

佳作

べらぼうな暑さに悩むシバの顔

鈴木 典子

佳作

べらぼうな情報量に閉口し

鈴木 典子

佳作

今日の酒べらぼうに酔ういい仲間

大川原 和子

佳作

べらぼうに気のきく人で気兼ねする

大川原 和子

佳作

べらぼうな安値飛び付き大ヤケド

新阜 義明

お隣は賽銭箱に栄一さん	榎田 次郎	亡母らしく灯籠流し逆走す	阿部 柳雪
定信公寛い心で舵を取る	谷本 良裕	べらぼうめちよいおとぼけが生きやすし	いし つぐみち
盆暗な亭主頼らぬ鉄火肌	島根 写太	べらぼうな望み極めは平和賞	石田 達夫
べらぼうめい銭は無くとも鰹喰う	島根 写太	インバウンドは1万円のマグロ丼	石田 達夫
筆先に多才多感の夢躍る	横村 華乱	べらぼうな暑さ続いて身がもたぬ	菅野 とみ子
べらぼうめ啖呵鋭く江戸を斬る	柳沼 幸三	定信を学び直していく令和	渋谷 均
心くんべらぼうに伸び定信氏	高橋 幸子	悪たれる酷暑に豪雨今日も行く	五月女 曉星
情熱は今も亡八黙らせる	木立 時雨	べらぼうに白河祭り囃子鳴る	船木 ミサ子
江戸の世の世相斬ったかべらぼうめ	堀場 孝至	定信も薦重もいてべらぼうめ	岡本 恵
あたぼうがあたぼうでないもどかしさ	植竹 団扇	定信の士民共楽令和にも	岡本 恵
べらぼうな高値続いたコメ不足	山田 茂夫	聖地巡礼めくや一度は吉原へ	岡本 恵
べらぼうな為政者ばかりいる憂き世	安藤 敏彦	かつこいいいなあべらぼうの心意気	岡本 恵
べらぼうに米がなくても飢え知らず	二瓶 直樹	べらぼうな釣った鰯を鯛にする	川名 信政
負け惜しみ言わず名君戻る関	二瓶 浩司	てやんでえ生きてみせるぜべらぼうめ	小林 薫
白河に定信ありて観るドラマ	上村 ひろし	べらぼうはどんな棒かと子に訊かれ	今井 登美子
温暖化海の涙が熱過ぎる	織田 順子	べらぼうな酷暑の空に啖呵切る	江口 はるみ
べらぼうに「清」と「濁」を教えられ	根本 則子	停戦を働きかけるいじめっ子	加藤 ゆみ子
蔦屋江戸の空気をつかんだ嗅覚	伊師 由紀子	べらぼう奴さくら紅葉の六十路旅	桜寿丸
ニンゲンのべらぼう地球赤くする	大窪 光生	べらぼうめおきてやぶりの文化人	今井 利明
酒を買う「OK」ボタン押させられ	水野 滋子	べらぼうな請求額に酔いさめる	今井 利明

べらぼうめあふざけるなふざけるな	今井 利明
べらぼうに猛暑の夏が長そうだ	橋本 由美
べらぼうな高い米価に世の怒り	橋本 由美
べらぼうな物価高？選挙券	橋本 由美
「べらぼう」に楽翁叫ぶ「ラブー」と	小林 富子
年金で暮らしてゆけぬべらぼうめ	佐々木 宜知
嫌だけどしつこいオトコ好きになる	中嶋 常葉
べらぼう奴瑞穂の国の米ばなれ	増田 幸一
べらぼうに酔いたい夜もある案山子	小島 一風
べらぼうな瓦れき戦地に無駄を積む	鈴木 明夫
べらぼうな暑さに黙秘蟬時雨	穂山 常男
奇天烈が神のシナリオまで替える	瀧尻 義英
伸びる社は杵をはみ出て破天荒	瀧尻 義英
べらぼうがときどき逆鱗に触れる	瀧尻 義英
べらぼうに生きて懲りずにまた左遷	瀧尻 義英
ヒーローもピエロもみんな風雲児	瀧尻 義英
べらぼうな納期遅れも値引きなし	すかがわん
べらぼうの南湖に桜永遠に	矢内 祭子
べらぼうに早い噂のよしあしよ	鈴木 典子
べらぼうな値上げ波には右往左往	鈴木 典子

べらぼうに暑い令和のこの夏を	鈴木 典子
世間体考えなしのべらぼうめ	鈴木 典子
べらぼうな値段おどろくチョコ類よ	鈴木 典子
全国にべらぼうな数当地キャラ	鈴木 典子
本当かなべらぼううわさ耳かさず	鈴木 典子
休み明けべらぼうな順病院も	鈴木 典子
くいつくなべらぼうな話冷静に	鈴木 典子
暑さからべらぼう進む手のビール	鈴木 典子
シバうなるべらぼう暑さ耐えるのみ	鈴木 典子
この夏のべらぼう熱気外へ出ず	鈴木 典子
べらぼうと噂の人の気のよさよ	鈴木 典子
べらぼうな銭の夢見る宝くじ	鈴木 典子
汗をふくべらぼうな暑さうらみ節	鈴木 典子
定信公飢きんを救うべらぼう藩主	難波 サダ子
憩いの場南湖のサクラべらぼうね	難波 サダ子
定信公藩政良しと江戸城へ	難波 サダ子
べらぼうなこと言い合って観る花火	鈴木 若菜
べらぼうの言葉自体が多様性	藤田 修
「べらぼう」はどんな棒かと辞書を引き	小松 美津子
べらぼうと言われ悄気てる腹の虫	斎藤 君子

べらぼうめ瑞穂の国のコメ騒動	吉原 瑞雲	べらぼうの人を育て世を作る	矢内 祭子
「べらぼうめ」しっかり見ろと参院選	武 正子	べらぼうの永遠続く松桜	矢内 祭子
べらぼうな親父が仕切るドヤの街	長谷部 みつ子	べらぼうに美味いがやはり母の味	今井 洋子
べらぼうな米の値段に民は泣く	飛知和 洸子	物価高当りどこなくべらぼうめ	今井 洋子
おんな所帯べらぼう脅し無事暮らす	北島 和子	暇ができ話すことあり墓参り	小河原 キイ
べらぼうの突っ張り蒸して糧とする	冨塚 正	愛弟のわかれに集う汗涙	小河原 キイ
べらぼうな金がどうして詐欺被害	田代 洋子	英国の友人来たる納骨日	小河原 キイ
べらぼうな仕打ちに耐えて拉致家族	田代 蓉湖	べらぼうな真っ赤な嘘の儲け口	小谷田 厚子
べらぼうな古古古米すら手に取れず	白井 美智子	べらぼうめ啖呵の拳宙に浮く	小谷田 厚子
定信公いつかあなたも千円札	菅野 敬士	べらぼうに我武者羅な日々生きて行く	小谷田 厚子
薦重の夢阻む関定信公	蛭田 光	べらぼうな値段を値踏みする余裕	大川原 和子
べらぼうになってしまった原子力	山田 浩則	べらぼうの悲しみ背負う母がいる	大川原 和子
べらぼうに住み良い街よ白河市	岡部 光男	べらぼうで定信人気上昇し	薄井 秀子
べらぼうよ駆け抜けてゆけその葦で	柳沼 亘	温暖化戦している時ですか	小林 左登流
べらぼうよ裸足のままで踏みあらせ	柳沼 亘	べらぼうな神も居るかも八百万	佐藤 千四
ハクビシン畑のトマトたいらげた	國井 保子	べらぼうな公約並べ選挙戦	渡辺 柳山
べらぼうだ百二才の富士登山	國井 保子	法外な値段で買うと古物商	笹島 一江
べらぼうめ小柄な母の口ぐせか	須田 和枝	口開けた財布べらぼうめと語り	荒川 一滴
べらぼうめ孫の晴着は世界一	須田 和枝	べらぼうにだるま最中が縁起いい	鈴木 幸美
並ぶ品べらぼう高く手が出ない	須田 和枝	べらぼうに焦がれた腰が歌麻呂に	いとう 百花

べらぼうな米の高値に民が泣く
べらぼうの人気を上げる田沼殿
彼がポロリとこぼす嘘べらぼうな
「べらぼう」は見ないと言ってはチラ見する
何事も負けず嫌いで生きている
江戸っ子に負けぬ威勢のべらんめえ
腐ってる鯛とは知らぬ永田町
べらぼうに上手いひばりの昭和歌
高騰は米不足だとべらぼうめ
もう脛に肉などあるかドラ息子
老人は日向ぼこして考える
べらぼうなあきらめません拉致の件
べらぼうな暑さ八月のケロイド
べらぼうな物価を冷やせ総理殿
べらぼうな暑さに負けぬひまわり意地で立つ
無知のためべらぼうな事ランプ氏
停戦協議してる最中の爆撃機
引き受けた役の全てを妻まかせ
バラマキの金より高くつく経費
飢餓に泣くガザにミサイル落とすとは

鈴木	初子
山口	まもる
菊田	信子
平間	勝成
村野	あかり
松谷	芙美子
こはらとしこ	
鈴木	由美子
石澤	はる子
三浦	一見
荒木	小菊
コウキ	
コウキ	
阿部	佳子
阿部	佳子
鈴木	英峰
高橋	成子
高橋	成子
高橋	成子
高橋	成子
高橋	成子
高橋	成子

そんなんであちきの心動かへん
俚約の風紀を呼んだ写楽の絵
血圧に悪いクレームばかり来る
若者の時代感覚判るかな

山崎	智
佐瀬	昌柳
江畑	哲男
本田	智彦



さだのぶくん

松平定信ゆかりの地
福島県白河市PRキャラクター